

昭和十九年五月一日

以分務者取扱ニ關スル規定

球第一三五六部隊

第一章 總則

第一條 本規定ハ伊江嶋飛行場設定作業實施
間ニ於ケル勞務者ノ取扱ニ関スル事項ヲ定ムルモトス
第二條 本規定ニ於ケル勞務者トハ徵傭ニ據ル
勤勞者其ノ他ニ據リ傭役スル人夫ヲ謂フモト
トス

第二章 取扱機關

第三條 勞務者ノ取扱ニ關スル別紙第一號ノ係員ヲ設ク

第三章 取扱要領

第四條 勤勞者ノ徵傭期間ハ概テ十日乃至一月間トシ
逐次交代スルモノトス

第五條 新タニ到着又ハ交代ノ爲到着スル者ニ對シ徵傭人
馬ハ伊江嶋事務所ニ於テ交付スル後設定隊
長之ヲ各作業隊ニ配當スルモノトス

第六條 受付事務ニ從事スル者ハ徵傳令狀ト本人ト
ヲ對照調査シ各町村毎ニ之ヲ区分整列シテ人設定
隊長ニ報告スルモノトス

- 第七條 人員ノ分配ハ概平左記ヲ其準トシテ作業
隊ニ配當ス
- 一 人員ノ比率ハ兩作業隊共同數トス
 - 二 村別毎ニ或ル可ク配當ス且執行日數ノ比較
的少ナキ村ヲ中飛行場ニ配當ス
 - 三 兩後ハ或ル可ク村別ノ建制ヲ齊ササル程度
ニ第一次配當同様ニ分配ス

第八條 荷馬車ノ配當田區分ヲ左ノ如ク定ム

- 一 中飛行場作業隊
本部町今帰仁村伊江村(東江前西江前ニテ)
- 二 東飛行場作業隊
名護署管內伊江村(東江上西江上山山)

陸軍

三 棧橋工事作業場

名護署管內ヨリ四口台及伊江村字川平
第九條 徵傳荷馬車以外ニ自由荷馬車ヲ備役セント
スル場合ニ於テモ前條ノ區分ニ據ルモノトス

第十條 配當ヲ受ケタル各作業隊ハ其ノ都度所要
ノ受領員ヲ伊江嶋國民學校ニ差出シ受領スルト
共ニ所要ノ編成ヲ成スモノトス

第十一條 徵傳期間満了ニ歸郷セシメントスル場合ハ
其ノ前日正午迄ニ人員數ヲ明カニ船舶輸送請
求書ヲ設定隊本部ニ提出スルモノトス

第十二條 歸郷セシムル人夫ハ當日正午迄就便至公
ヲ原則トス

第十三條 夫徵傳間ニ於テ各種ノ事情ニ依リ歸郷ヲ
申出ツル者アル時ハ各作業隊長ニ於テ適宜處置

スルモノトス

但し前項事情ハ國頭勲員所長若クハ各町村ノ証明アル者ノミニ限ルモノトス

第十四條 傷更疾病ニ依リ帰郷ヲ要スル者又ハ帰郷ヲ申出ヅル者ハ總テ醫官ノ証明アル者ニ限ルモノトス

第十五條 人夫一日就役作業時間ハ十時間トス
一時間以上就役セシムル場合ハ一時間ヲ増ス每ニ別ニ定ムル處ノ歩合ヲ加給スルモノトス

第四章 宿營給養

第十六條 人夫ノ宿泊場所ハ各作業隊毎設ケテ飯場ヲ使用スルモノトス

第十七條 給養人團場組ニ於テ之ヲ担任ス東能行場作業隊要員ノ者ハ請員賄トス

第十八條 人夫ニ要スル糧食ハ米麦調味品ハ縣配給

陸軍

トミ諸野菜類ハ各町村ノ供出ニ據ルモノトス
之カ支給區分並ニ集積要領人別ニ別ル處ニ據ルモノトス

第五章 好務

第十九條 人夫徵傭間ニ於ケル好務ノ實效ハ總ハテ部隊内務規定ヲ準用セシムルモノトス

第三章 労役賃金支拂要領

第二十條 労役賃金支拂要領ハ左記ニ據ルモノトス

(一) 各作業隊ハ各町村毎ニ人夫出勤數(様式第)ヲ調製シ日々出勤ヲ明瞭トシタルト共ニ之ヲ出勤簿(様式第)ニ記載整理シ人夫帰郷前日

正午迄ニ經理室ニ送付スルモノトス

(二) 經理室ハ勞務者出勤簿ニ基キ各公身勞務者賃金受領証書(様式第)ヲ調製シ

設 定 隊 長 考 備

考 備	經 理	給 養	所 務 場 現 所 務 事	
			各 工 區 長	各 小 隊 長
一 本 表 / 加 ク 定 ム ル 元 相 互 連 繫 ヲ 盛 ニ 工 業 務 / 田 沼 7 二 經 理 室 人 伊 江 島 事 務 所 ニ 之 ヲ 設 ク ル ヲ ト ス	廣 聖 社 尉	平 野 少 尉 村 岡 曹 長 鈴木 主 計 長	野 地 准 尉 坂 井 曹 長 田 岡 曹 長	幾 井 曹 長 干 元 名 各 署

四 不 分 考 / 運 報 失 欠 補 正 手 續
 五 補 給 養 人 員 / 運 報
 六 輸 送 運 送 運 送 運 送 運 送
 七 備 役 債 金 / 支 辨 整理
 八 取 得 物 質 / 支 辨 整理
 九 其 他 理 理 一 切 事項
 十 部 隊 内 理 理 事項

市 町 村 出 身 勞 務 者 (荷 馬 車) 出 勤 簿 (編 制 第 一 班 第 一 號)

考 備	字 名 番 地 代 名	姓 別	年 齡	職 別	出 勤				
					日	日	日	日	日
一 典 食 上 敷 入 宿 泊 者 三 對 三 備 附 前 給 養 員 三 對 敷 入 宿 泊 者 三 對 二 兩 天 等 及 出 務 七 カ ル ト 三 備 附 者 三 對 三 市 町 村 出 身 勞 務 者 十 五 名 四 市 町 村 出 身 勞 務 者 十 五 名									

考 備	明 細	日 日	出 勤					出 勤 日 數	出 勤 日 數
			出	出	出	出	出		
本 簿 / 通 出 勤 之 日 付 下 註 入 昭和十九年 月 日 現 場 監 督 官 陸 軍									

陸 軍

昭和十九年五月

後久地
有以真地
棧橋間船
船輸送貨
物件資我
處理規定

第五十飛行場大隊

第一條

本規定ハ渡久地・伊弉島棧橋間船舶輸送
ノ身物件資材ノ處理ニ關シル要ナル事項ヲ規定ス

第二條

船舶輸送ハ協力船舶ニ兵中隊之ヲ擔任スルヲ本
則トスルモ風浪高キ時其他船舶ニ於テ不足スル場
合ハ徵用發動機船ヲ利用スルコトヲ得

第三條

船舶輸送手續キ左ノ如シ
一、各隊ハ輸送前日十時迄ニ別紙第一様式輸送
請求書ヲ部隊連絡係ニテ提出シ請求スルモノトス

二、

部隊連絡係ハ各隊ヨリ到着スル輸送請求書
ヲ取獲メ輸送日時ヲ決定シ上之ヲ輸送請求部
隊ニ通報スルモノトス

第四條

輸送入身物件資材ハ渡久地及伊弉島各棧
橋ニ集積運搬シ積込場陸上輸送請求
部隊自ラ之ヲ實施スルモノトス

五月二日

出場人員

將校 一五 准下技 五〇 兵 四二一

雨

派遣隊

四 九

九四

伊江島

渡船連絡所

一 一

五

主力行動

一、大隊長飛行場設定業務打合、多々。〇。出發本部

町ニ出張ス(古澤少尉佐藤少尉森川中隊長隨行ス)

二、大隊ハ飯島少尉平野少尉指揮、許ニ第一

輸送器材ニ勤勞者用糧秣場陸運搬作業ヲ

實施ス

三、伊江島棧橋ニ器材及糧秣監視衛兵ヲ配置

ス

四、中澤少尉ハ兵一ヲ指揮シ飛行場設定材料汝

集、タメ、〇、ハ、〇、那霸ニ向テ發ス

全任官任命

命

曹長

木林川

篤義

名

曹長

佐藤

茂義

運河行動六

濱田王計中尉、復分任官ヲ免命ス

佐藤曹長以下ニ七名ヲ次テ自動貨車六、補給車ニ乘用車一、測車ニテ發動艇九隻ニ積載伊江島ニ輸送ス

自動貨車ヲ使用野菜運搬ニ去發一八〇。歸所残置者ヲ佐藤曹長指揮シ集積セル。諸野菜ヲ徵用般ニテ伊江島ニ輸送ス

命令七

作爲セル命令別紙ノ如シ

- 一五。飛大命令第三二號
- 一五。飛大命令第一七號



五〇。飛大命令第三二號

第五十飛行場大隊命令

五月二日二〇〇〇
年六月八日

大隊ハ明三日セカヲ以テ輸送若我並糧秣運搬

指揮シ輸送器材勤務荷用糧秣運搬並給水作業ヲ實施スベシ

四予ハ明三日ハ

伊江島棧橋揚陸作業巡視後

兵令ニ在リ

下達法
報告先

以達後印刷配布
32/1900